

事務事業名		マイナンバー対策事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																														
政策体系	政策名	07 新たな時代を切り拓く行政経営の確立		事業期間																															
	施策名	23 質の高い行政運営の推進		区分																															
	基本事業名	01 効率的・効果的な行政運営の推進		単年度繰返																															
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																															
所属	部課名	企画政策部デジタル戦略課		【開始年度】																															
	課長名	炭釜 秀一		26 年度～																															
	係名	情報システム係	電話	0192-27-3111																															
	担当者	村上 暢啓	内線	136																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<p>平成27年度からマイナンバー制度の導入・運用をはじめ、平成29年度には、関係機関間の情報連携が開始されたことから、安定稼働するよう管理・監視するとともに、制度改正やサービス拡充、毎年度更新予定の情報連携の基礎となるデータ標準レイアウトの改版に対応するため、システム改修等を適切に行っている。</p> <p>さらに、マイナンバーカードの普及については、令和2年度から始まった国のマイナポイント事業をきっかけとし、庁内のマイナンバー制度の統括部署として、国の各種支援制度を関係課等に情報提供しつつ、横断的に連携しながら、住民への制度周知はもとより、市内のカード取得率の更なる向上につながる取組を進めている。</p> <p>事業内容は、マイナンバーに係るシステムの運用経費及び普及促進等に関する事務である。</p> <p>主な事業費は、国の自治体中間サーバー・プラットフォームの運用経費及び次期システムの更改経費に係る負担金である。</p>				<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>(千円)</td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0	(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																		
事業費	都道府県支出金																																		
財源内訳	地方債																																		
	その他																																		
	一般財源																																		
	事業費計(A)	0																																	
人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																		
	人件費計(B)	0																																	
(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0																																	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
関係機関間の情報連携の基盤となるデータ標準レイアウト改版に伴うシステム改修に対応した。 また、国のマイナポイント事業が令和5年9月まで実施されていたことから、本庁舎での住民支援を行いながら、委託業務としてサン・リアに常駐する事業者による申込支援を実施した。	ア	番号利用事務	事務
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ		
市内のマイナンバーカードの取得率が約8割まで上昇したことから、今後はカードの利活用機会の創出に重きを置いた施策の検討を進めるとともに、併せて、マイナンバーを利用した情報連携によって行政事務の効率化が図れるよう独自利用事務の拡大についても検討を深めていく。	ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
マイナンバー利用事務で使用する業務システム 制度における情報連携を行うためのシステム	名称	単位	
	カ	番号利用事務に使用する業務システム	業務
	キ	情報連携(情報の照会・提供)を行うためのシステム	業務
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
マイナンバー制度に対応できるようシステム改修を行なう 制度による情報連携を行うためのシステムを整備する	名称	単位	
	サ	改修、整備を実施したシステム	業務
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	シ		
添付書類の削減等行政手続きが簡素化されることにより、市民の負担軽減と利便性の向上が図られ、質の高い行政運営が推進される。	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	3,504	1,064	0	2,735	3,876	3,876	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	12,080	10,163	9,225	8,071	3,460	3,460	
	人件費	事業費計(A)	千円	15,584	11,227	9,225	10,806	7,336	7,336	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	19,584	15,227	13,225	14,806	11,336	11,336	
⑤活動指標	ア	事務		47	47	48	48	48	48	
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	業務		13	13	13	13	13	13	
	キ	業務		2	2	2	2	2	2	
	ク									
⑦成果指標	サ	業務		15	15	15	15	15	15	
	シ									
	ス									

事務事業ID	1641	事務事業名	マイナンバー対策事業
--------	------	-------	------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）が平成25年5月に成立したことに伴い、地方公共団体においても制度の導入に向けたシステムの構築及び特定個人情報保護措置等の対応が求められた。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	マイナンバー制度の全庁的な情報共有と円滑な導入を図るために平成26年度にマイナンバー対策室を設置したが、関連システムの導入段階が終了したことから、平成29年度をもって廃止した。 平成30年度からは、マイナンバー制度の全庁的な情報共有とシステム改修を基軸として事業を推進する。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	データ標準レイアウトの改版や国の法律改正等に伴う各種システムの改修については、適時適切な対応が求められている。 当市のマイナンバーカードの交付率については、国のマイナポイント事業や市内事業者等への出張申請やイベント等への申請ブースの設置などを通じ、令和5年度までに取得率は約8割程度まで押し上げることができ、また、本庁における支援ブースや事業者への委託によって、多くの住民のマイナポイント申込の支援を実施した。 マイナンバー制度について、市民の中には、未だに個人情報漏洩への危惧や必要性を感じないなどの理由により、取得に対し敬遠する様子が伺える。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 制度の導入により、行政事務の効率化が図られる。また、市民にとっても行政手続きでの添付書類が削減される等、負担軽減と利便性の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ マイナンバー法において、番号利用事務及び特定個人情報を提供する事務に、市が実施機関となる事務が含まれている。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 行政手続きのオンライン化及び簡略化等のマイナンバーを活用したサービスにより、市民及び職員の双方に有益であり、その関連システムの整備をすることは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 今後、国において範囲拡大等の改正を行うことにより、利便性が増すことが考えられるため、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ マイナンバー制度における情報連携は、当市が業務で必要となる情報を他機関に照会するだけでなく、他機関からの照会に対し情報提供しなければならないことから、情報連携に対応するための措置を講ずる必要があるほか、住民票にマイナンバーを記載することが住基法で定められていることから、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など） 制度導入に向けた業務システムの改修・整備は必要最小限としているが、既存システムの改修は導入業者に委託せざるを得ない状況である。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど） システム改修・整備に係る方針・仕様の決定の事務等であることから、外部委託等にはそぐわない事務である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 全市民に関する制度であることから、公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×	令和5年11月から稼働する新たな基幹系システムの稼働に合わせ、本事業の委託料は、行政事務OA化事業のサービス利用料に吸収されたため、令和6年度以降、本事業の主な経費は、マイナンバー制度の周知に要する費用やマイナンバーを利用した情報連携に必要な自治体中間サーバーの接続機器のリース料と中間サーバーを利用するための運用負担金となり、全体事業費は一定程度減少する見込みであることから、事務事業の在り方について検討が必要である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	●																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	マイナンバー制度の導入・運用に伴うシステム改修は着実に実施されている。 マイナンバーカードの普及が一定程度進んだことから、市民生活や行政事務のデジタルシフトに向けた取組を関係部署と連携・強化する必要がある。